

「歌心と詩心」
〜国境と時代を超えたメロディーの旅〜

<山形テルサ指定事業>

永田美穂・中木健二 デュオコンサート

photo de Mirco Magliocca

2013 7/28 [日]

15:00開演[14:30開場]
山形テルサ テルサホール

チケット料金

指定席 3,500円 (当日4,000円)
自由席 一般 3,000円 (当日3,500円) 高校生以下 2,000円(当日2,500円)

チケット取り扱い

山形テルサ / 富岡本店 / 大沼本店 / 十字屋山形店
チケットYBC / ショッピングプラザカミン

※未就学児のご入場はご遠慮願います。なお、当日はお子様をお預かりする「キッズルーム」
を開設いたします。(有料/要予約・3日前まで)
※曲目はやむを得ず変更になる場合がございます。予めご了承ください。

[主催] 永田美穂・中木健二 デュオコンサート実行委員会 [協力] NPO法人 Mプロジェクト
[後援] 山形市教育委員会 上山市教育委員会 山形新聞・山形放送 VigoFM78.8MHz

Program

L. ベートーベン

ピアノソナタ「悲愴」第8番 作品13 ハ短調
L. Beethoven: Sonate für Klavier Nr.8 c-moll "Pathétique"

G. フォーレ

ロマンス 作品69
G. Fauré: Romance pour violoncelle et piano op.69

F. フーランク

チェロとピアノのためのソナタ
F. Poulenc: Sonate pour violoncelle et piano

F. シューベルト

ソナタ『アルペジオーネ』イ短調 D821
F. Schubert: Sonate "Arpeggione" in a-moll D821

お問合せ
090-5234-1223(木村)

誰にでも忘れられないメロディーがあります。

母がわが子を想って歌う歌、旅立つ友を励ます歌、愛する人への思いを込めた歌・・・。

同じように、偉大な作曲家の音楽には一度聴いただけで忘れられなくなるような美しいメロディーがありました。

国境や時代の異なる4人の作曲家の歌心を、

人間の声にもっと近いとされるチェロとピアノのためのプログラムでお送りします。

作曲家自身ピアニストでもあった偉大な作曲家たちの、多彩なメロディーをご堪能ください。

永田 美穂 / ピアノ Miho NAGATA, Piano

山形県上山市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。その後渡仏。2008年パリ・エコールノルマル音楽院最高課程コンサーティストの修了試験で、マルタ・アルゲリッチ、シブリアン・カツァリス、アブデル・ラーマン・エルバシャ、デビット・ライプリー各氏が審査員の中、満場一致の首席でディプロマ取得。同年イタリア・イモラ国際ピアノアカデミーのディプロマ取得。

2007年第10回ジャン・フランセ国際コンクール第3位(第2位無し)。2008年第1回ヴァル・ディゼール国際コンクールグランプリ受賞。2009年第11回イルド・フランス国際コンクール第2位、併せて特別モーツァルト賞受賞。ベルギー・ブリュッセルで行われた音楽祭ではオーディションに合格し、王立音楽院ホールでニージニー・ノヴゴルド・クレムリン交響楽団とチャイコフスキーピアノ協奏曲第1番を共演。ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団とウィーン、東京、山形で共演。「ふるさとの演奏家コンサート」で工藤俊幸指揮山形交響楽団とベートーヴェンピアノ協奏曲第3番を共演。2010年飯森範親指揮山形交響楽団定期演奏会でラヴェルピアノ協奏曲ト長調を共演。また第22回“アフィニス夏の音楽祭2010山形”にて室内楽演奏会にゲスト出演。フランス、イタリア各地でソロ・室内楽演奏会に出演するなど国内外において演奏活動を行っている。

これまでに一柳多津子、一柳和男、須田真美子、ギグラ・カツアラバ、レオニード・マルガリュウス、リカルド・リザリティ、アンヌ・ケフェレック、室内楽をエリック・ルサーージュ各氏に師事。

中木 健二 / チェロ Kenji Nakagi, Cello

1982年、愛知県岡崎市生まれ。3歳よりチェロを始める。名古屋市立菊里高等学校、東京芸術大学を経て渡仏。その後パリ国立高等音楽院、ベルン高等音楽院の両校を首席で卒業。

2005年ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位ならびにポーランド放送局賞、EMCY賞受賞。同年、第16回FLAME音楽コンクール(フランス)優勝。08年第1回Note et Bien国際フランス音楽コンクールでグランプリなど、受賞多数。

現在ヨーロッパを拠点とし、リサイタルのほか、ブラジル・ペトロブラス響、ベルン響、ポーランド放送響、名古屋フィル、新日本フィルをはじめとするオーケストラとの共演、また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、小沢征爾音楽塾オペラプロジェクト、宮崎国際室内楽音楽祭、モンテヴェッロ国際室内楽音楽祭、ラヴェッロ音楽祭、オランジュリー音楽祭を含む音楽祭に招かれ出演するなど幅広い演奏活動を行っている。

これまでにチェロを久保田顕、林良一、河野文昭、向山佳絵子、P.ミュレル、A.メネセスの各氏に、室内楽を松原勝也、岡山潔、B.パスキエ、C.イヴァルディ、F.サルク、E.ル・サーージュの各氏に師事。

2010年度よりフランス国立ボルドー・アキテーヌ管弦楽団首席奏者を務める。紀尾井シンフォニエッタ東京メンバー。

使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ガアルネリ。